

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	住工混在解消促進事業			会計	款	項目	大	小
				01	07	01	02	03
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工課			
施策	5-2	工業の強化と新たな産業の創造		主管課長	金子 孝行			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内工業系事業所、市民	意図	市内住宅地に所在する工業系事業所の課題と整理。
事業内容	市内住宅地に所在する工業系事業所の課題と整理。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市西深井地先の県道松戸野田線高架(旧有料道路)下を占用し、駐車場としているほか、千葉県指定団地協議会の負担金として活用している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	住工混在解消件数	15	14	14	件	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・住工混在地域にある工場の移転先を確保するのは難しい。 ・仮に適地を確保できたとしても、多額の費用が必要となるため移転の実現は厳しい状況である。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		789,580	768,570	760,019			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		789,580	768,570	760,019			
人役・職員(人)		0.11	0.11	0.11			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	B 対象が狭すぎる
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価						

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	県道松戸野田線高架(旧有料道路)下の再占用と県道松戸野田線信号機への交差点名の設置。	③取り組みの課題	行政では適地確保が困難である。
②今年度(H26)に実施した取り組み	千葉県指定団地協議会に参画し、情報の収集に努めた。	④今後の改善計画	住工混在地域の課題を把握し、今後の方向性を産業振興審議会等の意見を踏まえ、効果的な解消法を見出す。